

事務事業名	特定地域づくり事業協同組合支援事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	定住・公共交通G	
	施策名	〈02〉移住・定住の推進		担当者名	佐藤 尚子	
	目的・対象	市外の人・市民	意図	雲南市に移住・定住してもらう。		
	基本事業	〈005〉移住・定住に向けた魅力の発信		電話番号	0854-40-1014	
目的・対象	市外の人・市民	意図	雲南市に魅力を感じる。			(内線) 2321
予 算 科 目			会計	0:1:1:0	款	0:3
			大事業名	定住対策促進事業		
			中事業名	特定地域づくり事業協同組合支援事業		
			項 目	0:5:6:5	2:0	業 名

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民・市外から移住を考える人	雲南市内で就労し、定住してもらう
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R3 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	20歳代・30歳代を中心とする若者・女性・子育て世代の人口流出が特に激しい周辺地域対策として、「特定地域づくり事業協同組合」を設立し、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、地域内外の若者等が労働需要に応じた複数の事業に従事することにより、組合員の担い手不足解消や事業の維持・拡大を促進するとともに地区における新たな事業展開や付加価値の創出など地域経済の活性化を図っていく。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 雲南市特定地域づくり事業協同組合(ワークアラウンドうんなん)設立準備	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 令和4年度設立、派遣開始に向け準備を進めている。長期的な職員派遣が可能となる運営方法について、参画予定の事業者と検討を進めている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 派遣職員の数	人			0	2
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
手数料 198千円 (特定地域づくり事業協同組合設立認可に係る書類作成)	国庫支出金	千円				3,534
	県支出金	千円				1,000
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円			198	5,534
	事業費計	千円	0	0	198	10,068

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	協同組合参画予定事業者との定期的に協議を行い、令和4年4月1日に設立することができた。
② 事業実施するうえでの課題	できるだけ早い段階で職員派遣が開始できるよう準備を進めているが、派遣職員の確保ができていない状況である。安定的な運営を続けていくため、長期的な職員確保の仕組みを構築する必要がある。また、協同組合そのものについても地域内での認知度をあげ、参画事業者の獲得に努めていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	協同組合において、ホームページの立ち上げを行い、協同組合の周知、職員募集を予定している。市としては全国移住ナビSMOUTや定住相談イベント等で情報発信を行い、職員募集支援を行う。